

夢タウン まっぶし

# 議会だより

第125号

令和6年5月30日発行



議会新構成 ..... 2～3P

## 3月定例会・1月臨時会

〈主な内容〉

- 令和6年度当初予算・討論 ..... 4～5P
- 議案審議・補正予算 ..... 6～8P
- 1月臨時会 ..... 8P
- 委員会報告・主な議案の採択 ..... 9P
- 意見書 ..... 10P
- 10人の議員が町政を問う ..... 10～15P

古利根川クリーン作戦(令和6年3月3日)

# 議会新構成

選挙後の初議会が令和6年4月22日に招集され、議長・副議長をはじめ常任委員、議会運営委員、一部事務組合への派遣議員が決まりました。



議長 田口 義博

任期満了により4月22日の初議会（臨時会）において、議員各位のご賛同を得て議長に就任しました田口義博でございます。

もとより町民に対する行政と町民の負託にこたえる議会とし、事業成果の検証等、議会がより良い形で運営できるよう努めてまいります。

議会が町民から信頼と期待を戴けるよう議会改革を進めてまいります。

今後とも議会に対しましてご指導ご鞭撻賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



副議長 砂川 清時

松伏町の皆様へ。この度、初議会において、正副議長選挙が行われ、副議長に就任することになり、大変光栄に思います。

町民の皆様の声に真摯に耳を傾け、より良い地域社会の実現に向けて、精一杯尽力して参ります。

皆様と共に築く明るい未来に向け、努力を惜しまず、責任を持って邁進してまいります。

どうぞご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 総務産業常任委員会



委員長 高橋 昭男  
 副委員長 松岡 高志  
 委員 吉田 俊一 長谷川 真也  
           増田 等 村上 真由美  
           高野 祐大

## 文教民生常任委員会



委員長 佐藤 永子  
 副委員長 増田 秀雄  
 委員 福井 和義 鈴木 勉  
           川上 力 平野 千穂  
           砂川 清時

## 議会運営委員会



委員長 川上 力  
 副委員長 増田 等  
 委員 佐藤 永子 高橋 昭男  
           長谷川 真也 平野 千穂  
           高野 祐大

## 監査委員



増田 等

## 一部事務組合議会議員

### ○東埼玉資源環境組合議会（3名）

平野 千穂・増田 秀雄・村上 真由美

### ○江戸川水防事務組合議会（3名）

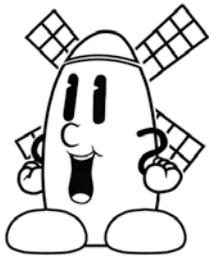
長谷川 真也・川上 力・高野 祐大

### ○吉川松伏消防組合議会（4名）

吉田 俊一・長谷川 真也・松岡 高志  
 鈴木 勉

### ○越谷・松伏水道企業団議会（3名）

福井 和義・田口 義博・砂川 清時



## 令和6年度 一般会計予算

# 91億7,200万円

(前年度比 3億8,400万円の増)

令和6年度を計画始期とする「松伏町第6次総合振興計画」に「みんなの笑顔  
を未来へつなぐ 緑あふれるまち まつぶし」の実現が位置付けられた。この予算  
は、7つのまちづくりの目標の実現を目指し、編成されている。

### 1. 未来を担う子どもたちが健やかに育ち、生きる力を はぐくむまちづくり

22億129万円 (前年度比 2億6,065万円増)



主な  
取り  
組み

○子ども医療費給付費 (乳幼児分)	3,929万円
○子ども医療費給付費 (就学分); (うち、高校生拡大分 2,000万円)	9,047万円
○産後ケア事業委託料	216万円
○給食材料購入費 (うち、給食費無償化分 2,269万円)	1億2,014万円
○学校施設整備費 (小・中学校費)	2,388万円
○防犯カメラ更新工事費 (小・中学校費)	1,188万円

子どもたちが安心して医療を受けられるよう、子ども医療費の助成対象を高校生まで拡大。また、育児に不安がある、産後のサポートが必要な母親を対象に、産後ケア事業を実施。さらに、学校給食費を令和6年度の第1期及び第2期分を無償化。児童一人ひとりの個性を尊重した教育環境の充実を図るため、松伏小学校に発達障害・情緒障害通級指導教室を開設。学校のセキュリティ強化として小中学校の防犯カメラを更新。

### 2. 地域で支え合い、いきいきと暮らせるまちづくり

22億4,091万円 (前年度比 1億2,571万円増)



主な  
取り  
組み

○介護給付費・訓練等給付費	5億5,168万円
○予防接種委託料 (うち、新型コロナワクチン分 1,836万円)	9,486万円
○後期高齢者医療健康診査等委託料	959万円
○高齢者タクシー等利用料	955万円

障がい者が自立した生活ができるよう、就労、相談、地域生活支援の充実を図る。新型コロナワクチン接種が定期接種となることから、高齢者等に適切な予防接種を実施。また、75歳以上の高齢者の方へのタクシー利用料金の助成について、タクシー料金の値上げを受け、1,000円券に加え2,000円券も発行し利用しやすくする。後期高齢者健康診査は、これまでの集団健診に加え、個別健診を開始。

### 3. 互いを認め合う、町民主体の地域コミュニティ豊かなまちづくり

2億1,063万円 (前年度比 1,647万円増)



主な  
取り  
組み

○自治会等振興補助金	400万円
○トレーニングルーム機器リース料 (B & G海洋センター)	51万円
○印刷製本費等 (町史編さん事業)	1,946万円
○図書システム更新関連経費 (中央公民館及び多世代交流学習館)	605万円

町を楽しくするイベント等を行っている町内の団体に対し補助金を交付。また、町史編さんについては、令和6年度は「通史編」を刊行。図書システムを更新し、インターネットにより図書の検索や予約を可能にする。

### 4. 活気あふれるにぎわいのまちづくり

9,621万円 (前年度比 △3,703万円)



主な  
取り  
組み

○町商工会助成金 (うち、カレーのまち推進事業 60万円)	600万円
○揚水機場設備更新工事費	809万円
○大川戸バス停車帯設置工事費	1,100万円

カレーのまちづくりを推進し、スタンプラリーの対象となる新規店舗の拡充を図る。また、農業用水の安定供給のため、寺前揚水機場の整備を実施。大川戸バス停車帯の整備工事を実施し、乗降時の渋滞緩和と利用者の安全性の確保を図る。



## 5. 持続可能で利便性の高い快適空間のまちづくり

3億8,273万円（前年度比 △1億52万円）

主な  
取り  
組み

- 道路照明灯整備工事費 1,620万円
- 舗装修繕委託料 1,400万円
- 松伏町地域公共交通活性化協議会補助金 1,350万円

道路照明灯のLED化を進め、省エネルギーの推進を図る。町道7号線（ゆめみ野地区）及び町道360号線（築比地地区）の舗装修繕を実施し、車両および歩行者の安全性の確保を図る。「松伏町地域公共交通活性化協議会」を設置し、本町に望ましい地域公共交通のあり方とその実現に向けた取組み等をまとめた「地域公共交通計画」を策定。

## 6. 安全・安心な暮らしのできるまちづくり

10億9,582万円（前年度比 1億4,104万円増）

主な  
取り  
組み

- 枝草搬入奨励補助金 40万円
- 東埼玉資源環境組合分担金 2億8,749万円
- 自転車乗車用ヘルメット購入費補助金 50万円
- 避難所開設研修業務委託料 130万円
- 照明器具交換工事費（ふれあいセンター、児童館、北部サービスセンター、松伏会館） 3,000万円

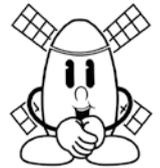
ごみ減量化及び資源化促進のため、枝草搬入奨励補助金を1kg5円から20円に増額。また、自転車乗車用ヘルメット購入補助金の交付を継続。令和6年度は、松伏第二小学校、松伏第二中学校にて避難所開設訓練を実施。公共施設と街路灯のLED化を進め、「ゼロカーボン」達成に向けて取り組む。

## 7. 効率的で質の高い町政運営を進めるまちづくり

11億4,193万円（前年度比 △5,862万円）

主な  
取り  
組み

- 松伏町第6次総合振興計画の推進
  - 【町の将来像】 みんなの笑顔を未来へつなぐ 緑あふれるまち まつぶし
  - 【将来目標人口】 28,000人
  - 【重点戦略（リーディングプロジェクト）】
    1. こどもや高齢者にやさしいまちづくり
    2. 次世代につなぐ活気とにぎわいのあるまちづくり
- 自治体DXの推進と住民サービスの維持・向上
  - ・行政手続きのオンライン化の更なる推進
  - ・窓口サービスの向上や納税機会の拡充



## 討 論（一般会計）

賛成  
(原案)

令和6年度松伏町一般会計予算は、新たな「松伏町第6次総合振興計画」のスタートの年となり、こども医療費の対象を高校生まで拡大し、小中学校の学校給食を第1期、第2期を無償化。高齢者支援には、地域包括支援センターの増設を行い、地域公共交通計画の策定により、住民要望の強い公共交通の充実が1日も早い実現を望む。町民の皆さんが「松伏町に住んでよかった、生まれてよかった、住み続けたい」と思えるよう、その期待に応えられる予算編成と町政運営を願い賛成討論とする。

令和6年度は当初予算としては、過去最大となった。社会保障費や人件費、東埼玉資源環境組合分担金といった義務的経費増があり、その財源も国や県の補助事業の有効活用、各種基金、地方債などを活用したもので、厳しい財政運営のなかで組み上げたものと評価する。具体的には、自転車乗車用ヘルメット購入費補助金の継続予算化、発達障害・情緒障害通級指導教室を増設することでこども達の学びや居場所を保障することを評価し、賛成する。

「公共交通の充実」では法的・財政的支援を受ける計画を策定。「子育て支援の強化」では高校3年生までの医療費支援の拡充を行い、人口減少対策としての更なる推進を期待。「ふるさと納税促進」では、ラインナップの増加とポータルサイト拡充で、地域資源の魅力を全国に伝える機会を創出。「シティプロモーションの推進」では、新しい試みが計画され、地域活性化に貢献が期待される。「多様化に合わせた教育の推進」では、Society5.0時代に求められる非認知能力の育成を目指す。という評価すべき5点を含む一方、「戦略的計画」の不足が懸念されるが、将来ビジョンの明確化と生活の質の向上への期待を込めて賛成する。

反対  
(原案)

国・県の補助金や交付金を活用した努力と、こども医療費助成18歳まで拡大、学校給食費4月5月の無償化、地域公共交通活性化協議会の立ち上げ・計画策定事業を決断したことを評価。一方で、生活道路の修繕、側溝や排水路整備などの予算は（十分）確保されていない。決算と予算を見ると、一般財源の町税、地方交付税、繰越金などは差額が大きい。（12億5,602万円）実質収支8億4,700万円である。次年度の予算編成のため全額を使えるものではないが当初予算に反映できれば住民要望に応えることができる。さらなる努力を求める。また、東埼玉資源環境組合は、第一工場の焼却炉の入替えのために積立金を増額するが、将来的に必要となる焼却ゴミの量に応じて工事費の負担を考える必要がある。評価できる点もあるが、早急に改善を求める立場から反対とする。

主な議案

人事

松伏町固定資産評価審査委員会委員の選任について

増田 信夫(ますだ のぶお)氏 再任

任期：令和6年4月20日から令和9年4月19日まで



松伏町重度心身障がい者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

問 条例の一部改正について説明を求める。

- 答 ①重度医療の対象の方が、町外の介護保険施設に入所した場合の医療費自己負担分の市町村補填を、施設設置市町村で負担している現行制度では、設置市町村に財政的な不公平感が出るため、居住地自治体が医療費補填をする居住地特例を適用する。
- ②こども医療費制度やひとり親家庭の医療費制度は、自己負担分を町が負担している。重度医療の対象になった場合には、これらの医療制度より重度心身障がい者医療を優先することを条例に規定し明文化した。

松伏町介護保険条例の一部を改正する条例

○所得段階別保険料

所得段階	年額 (円)	想定人数 (人)
第1段階	30,800	1,290
第2段階	46,400	552
第3段階	46,700	479
第4段階	61,000	1,305
第5段階	67,800	1,170
第6段階	81,300	1,410
第7段階	88,100	1,188
第8段階	101,700	571
第9段階	115,200	239
第10段階	128,800	107
第11段階	142,300	44
第12段階	155,900	31
第13段階	162,700	39
第14段階	169,500	24
第15段階	176,200	62

- 問 第5段階（基準額）6万7,800円は、前回より1万1,000円上がっている。今回の改正による町民への影響について聞く。
- 答 この介護保険料は、令和6年度から令和8年度まで適用。65歳以上の高齢者全てが増額の影響を受ける。
- 問 所得段階別の段階を12段階から、今回15段階にした理由を聞く。
- 答 前は国のモデルは9段階だったが、松伏町は12段階を採用していた。今回は、国が示していた9段階を13段階にすると決まった。町には、低所得者層の方が20%から25%いる。国の第9期計画では、高所得者層の負担している保険料を低所得者層の保険料の圧縮に使う段階設計をするよう求められているため、15段階を採用した。

## 松伏町在宅福祉支援サービス手数料条例の一部を改正する条例

問 ふれあいデイサービス事業を廃止することで、それに代わる事業は考えているのか。

答 ふれあいデイサービスは、介護認定を受けていない方のデイサービスとして社会福祉協議会が実施している。今回それを廃止することに伴い、ふれあいセンターをベースとした要支援者の方のデイサービス事業を行う。この事業は、要支援1・2の方、および基本チェックリスト該当者が対象となる。

問 新しく始める要支援者の方のデイサービス事業の内容と利用者負担は。

答 半日利用のデイサービスの要望もあったため、半日型（2時間程度）で実施する。利用負担は、介護保険1割負担の方で300円、送迎の場合は350円で検討している。事業内容の1つは、今まで行ってきた創作活動、認知症予防の体操や歌など介護予防を意識した事業。もう1つは、デイサービスのなかで行えるリハビリ的な要素を加えたものの2種類を展開していこうと考えている。



## 松伏町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例

問 介護サービス事業者に運営規程の概要等の重要事項について、書面による掲示に加えて、原則としてウェブサイトに掲載することを義務付けるとあるが、ホームページを持っていない事業所ではどうするのか。

答 1年の経過措置を経て、令和7年度から実施。厚生労働省の介護サービス情報公開システムや松伏町・吉川市で共同で運営している吉川市・松伏町医療・介護資源情報提供システムで情報開示できる。

問 身体的拘束等を行ってはならないこと及び身体的拘束等を行う場合の記録を義務づけるとあるが、記録の開示はできるのか。

答 身体的拘束は、介護も医療も基本的には禁止とされている。入院もしくは入所するにあたって、必ず本人の同意もしくは家族の同意をとることが大原則として行われている。そのうえで、緊急のやむを得ない場合に身体的拘束を行った場合には、状況・時間・理由等を記録することを義務づけるもの。記録の公開について、厚生労働省のガイドラインでは、原則開示となっている。ただし、その内容が事業者の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼす場合などは、「全部開示をしない」、もしくは「一部を開示しない」ということができるというのが個人情報保護法に従って可能ではあるとされている。

## 松伏町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

問 重要事項の掲示の見直しの自動公衆送信（インターネット）による公衆の閲覧とは何か。

答 各園の情報は子ども・子育て支援情報公表システム「ここdeサーチ」を利用して情報公開をしている。



## 令和5年度松伏町一般会計補正予算（第9号） 5,279万5,000円の増額（年度総額102億1,197万1,000円）

### 〈主な歳入〉

#### ○消防費委託金

- ・自主防災組織等活性化推進事業委託金 129万円

令和5年度から実施している避難所開設訓練に対して、総務省消防庁から交付される委託金。補助率は10分の10。埼玉県内で3自治体が採択された。

### 〈主な歳出〉

#### ○民生費

- ・認知症施策推進計画策定基礎調査等委託料 200万円

市町村は令和7年もしくは令和8年から認知症施策推進計画を定めることになっている。今後の施策の計画になる基礎調査を行う。

#### ○衛生費

- ・清掃事業者組合設立支援金 920万円

中小企業等協同組合法に定められた事業者組合として組織される法人。町の一般廃棄物収集運搬及びリサイクルセンターの運営を受託している4事業者で構成。組合名は、「松伏町環境事業協同組合」令和6年2月26日埼玉県知事の設立許可がでた。3月6日付で法人登記が完了した。

## 臨時会

## 1月31日に開催されました

提出された議案4件はすべて可決されました。

### 松伏町こども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

医療費の支給の対象となる子どもの範囲の拡大をする。

問 医療費の支給対象が拡大に至った経緯について伺う。

答 こども医療費助成制度について、子どもの保健の向上、また福祉の増進を図ることを目的として、現在は中学校卒業までの子どもを助成対象としている。昨年、埼玉県から、助成対象を入院は中学3年生、通院は小学3年生まで拡充する説明があり、これに合わせ、また近隣の状況等を考慮し、入院、通院とも18歳まで拡充することとした。

### 松伏町手数料条例の一部を改正する条例

戸籍法の一部改正に伴い、本籍地以外での戸籍証明書等の交付等に係る手数料の額を定めるとともに、規定の整備をする。

### 財産の取得について

台風等による浸水被害の軽減を図るため、災害対策用移動式ポンプを2,750万円で取得。

### 令和5年度松伏町一般会計補正予算（第8号）

#### 〈主な歳出〉

- ・給付金・定額減税一体措置に係る住民税非課税世帯等重点支援事業費 1億218万円
- ・エネルギー・食料品価格等の物価高騰対策に係る事業費 9,957万円

# 委員会報告 見る・聞く・動く

## 議会改善改革特別委員会

### 議会改善改革に関する審議報告書

地方分権が進展するなか、二元代表制のもと地方議会の果たす役割は重要性を増しており、議会活動の充実・強化を図るとともに、情報の公開、透明性の向上を図ることが一層求められている。松伏町議会は、より一層、町民の負託にこたえるため、開かれた議会及び議会の機能強化と活性化を目指すとともに、議会機能を不断に見直すことを目的として改善改革に取り組むものとし、当委員会は、令和4年9月設置された。

改善改革における取り組みについては、各議員から提案された項目について、優先度の高い項目から検討することとした。令和6年2月まで13回の委員会を開催し6項目について議論を進めた。これまでの議論を通して、町民のための開かれた機能する議会を目指すために、こうした改革の取り組みが必要であると改めて認識をした。継続的に続けることが重要であることから、参考とするため議論した内容を報告書にまとめた。

※町議会ホームページに掲載しています。

3月定例会の主な議案の採決		議員名													採決結果	
件名		佐藤 永子(自)	長谷川 真也(未)	増田 秀雄(未)	福井 和義(チ)	吉田 俊一(共)	田口 義博(自)	高橋 昭男(自)	高野 祐大(チ)	平野 千穂(共)	砂川 清時(自)	松岡 高志(無)	村上 真由美(公)	川上 力(公)		
<b>【町長提出】</b>																
議案第5号	松伏町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第6号	松伏町重度心身障がい者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第7号	松伏町監査委員に関する条例及び松伏町下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第9号	松伏町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第10号	松伏町在宅福祉支援サービス手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第11号	松伏町手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第12号	松伏町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第13号	松伏町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第16号	令和5年度松伏町一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第17号	令和5年度松伏町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第18号	令和5年度松伏町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第19号	令和6年度松伏町一般会計予算	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第20号	令和6年度松伏町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第21号	令和6年度松伏町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第22号	令和6年度松伏町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第23号	令和6年度松伏町下水道事業会計予算	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
<b>【議員提出】</b>																
発議第1号	若者のオーバードーズ(薬物の過剰摂取)防止対策の強化を求める意見書	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	可決
発議第2号	地域公共交通の充実発展を図り、利用者の交通権を保障するための意見書	○	○	○	○	欠	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	可決
発議第3号	金権腐敗政治を一掃することを求める意見書	●	●	●	●	欠◎	●	●	○	○	●	●	●	●	●	否決

(○=賛成 ●=反対 欠=欠席 ◎=提出者)

(会派名) 自=自民クラブ、未=未来クラブ、公=公明党、共=日本共産党、チ=チェンジ松伏・無所属クラブ、無=無所属町民会議

# 意見書

## ☆議員提出

☆議員提出議案はすべて町ホームページに掲載しています。



### 若者のオーバードーズ(薬物の過剰摂取)防止対策の強化を求める意見書

**可決**

不安や葛藤、憂鬱な気分を和らげたいなど、現実逃避や精神的苦痛の緩和のために、若者がオーバードーズに陥るケースが多く、実際、市販薬を過剰に摂取することで、疲労感や不快感が一時的に解消される場合があり、同じ効果を期待してより過剰な摂取を繰り返すことで、肝機能障害、重篤な意識障害や呼吸不全などを引き起こしたり、心肺停止で死亡する事例も発生している。若者の居場所づくり等の施策を推進すること。

### 地域公共交通の充実発展を図り、利用者の交通権を保障するための意見書

**可決**

- 一、国として運転手確保にあらゆる施策を講じること。バスやタクシー運転手の賃金上げが実施されるよう指導援助すること。
- 一、地域公共交通維持確保改善事業をはじめ国の負担を大幅に拡充すること。
- 一、交通政策基本法は、国及び自治体の責務として財政の確立や労働環境の改善を明記し、交通権を保障するよう改正すること。

### 金権腐敗政治を一掃することを求める意見書

**否決**

- 1、政治資金パーティー券購入を含めて、企業・団体献金を全面的に禁止すること。
- 2、裏金作りに関与した政治家全員の証人喚問を行なうこと。

## 町政に関する

### 一般質問の主題

一般質問の会議録全文は町のホームページから検索できます

#### 村上 真由美

- こどもホスピスへの支援
- HPVワクチンのキャッチアップ接種対象者に対する周知
- 乳幼児健診に5歳児健診の追加支援
- ヤングケアラー調査と普及啓発

#### 川上 力

- 災害派遣トイレネットワークプロジェクト「みんな元気になるトイレ」への参加(トイレトレーラーの導入)
- ゼロカーボンシティへの取り組み(EV車及びカーシェアリングの導入)
- 今後の松伏町土地開発公社

#### 砂川 清時

- 移動スーパーの成果と今後の展開
- 東埼玉道路・浦和野田線開通に伴う周辺町道の整備
- 水道管やガス管理設工事に伴う道路の整備状況

#### 増田 秀雄

- 投票率向上対策
- 立地適正化計画
- 小中学校の樹木管理
- ジュニア向けスポーツ教室の開催

#### 田口 義博

- 新聞の持つ力を学習に
- 人口減少に対応した交通のまちづくり

#### 松岡 高志

- 町の地域防災力の向上を
- 全国及び埼玉県の学力・学習状況調査結果の課題解決の実施状況は

#### 長谷川 真也

- これからの町の運営
- 少子化に伴うこれからの学校運営

#### 高野 祐大

- 河川の活用によるウォータースポーツによる地域振興
- 「まつぶし町」への町名変更による外部からの認知度向上と町民のシビックプライドの醸成
- 東埼玉道路の自動運転によるBRT導入における成功のカギと課題
- 人口流出を防ぐための若年層の需要に応える公共交通の利便性向上

#### 吉田 俊一

- 野田橋付近の渋滞と金杉・天神団地内に入り込む自動車対策
- 子育てを応援する取組みとして、保育事業の充実を

#### 平野 千穂

- 不登校児を含む、子どもたちの居場所づくりを
- 手話言語条例の制定を
- 災害備蓄品の抜本的な拡充を

10人の議員が町政を問う



むら かみ ま ゆ み  
**村上 真由美** (公明党)

**Q** ヤングケアラー体験者の講演を

**A** 小・中学校と情報共有を図り検討

**問** ヤングケアラーの事を知ってもらう事が大切だ。実体験を聞くことで理解が深まると思う。小・中学校でもヤングケアラー体験者の講演を行ったらどうか。

**答** **教育総務課長** 今後、近隣市町の取組等の情報を収集し、各校と情報共有を図りながら検討する。

**問** こどもホスピスは、命に関わる重い病気で終末期を迎えた子どもと家族が遊んだり学んだりしながら、安心して過ごせるよう支援をしている施設である。日本では、まだ明確な制度はないが松伏町にこどもホスピス「にじこどもホスピス」がある。相談はどこの課にすればよいのか。

**答** **すこやか子育て課長** 町にはこどもホスピスの施設運営を管轄する部署はない。すこやか子育て課に相談をすると、その内容により担当課に振り分けていく。たらい回しにはしない。

**問** 子宮頸がんを予防するためのHPVワクチンのキャッチアップ接種の実施期間が令和7年3月31日で終了となる。未接種の方に対してどのよ

うに周知をしていくのか。

**答** **すこやか子育て課長** 令和6年4月頃に勸奨ハガキを送付する予定。無料接種が令和7年3月31日に終了すること、3回の接種が完了するまでに必要な期間や無料接種期間の終了後は自己負担が発生することなども記載したい。



介護をする学生



かわ かみ つとむ  
**川上 力** (公明党)

**Q** トイレトレーラー導入の実現を

**A** 課題を整理できるように検討する

**問** 被災地では、トイレが臭い・汚い・暗いとの声が多いなか、臭わない・きれい・明るいトイレとして、トイレトレーラーの活躍が報道されている。令和7年度が期限の緊急防災・減災事業債の活用などで、町の負担なくトイレトレーラー導入の実現を図るべきではないか。

**答** **町長** トイレトレーラーに大変興味を持っている。越谷市にも見に行き話も聞いている。トイレトレーラーは衛生面からも大変に有効なものと思っており、いろいろな課題を整理できるように検討する。

**問** ゼロカーボンシティの実現にEV車導入やカーシェアリングを行うことや、企業や町民からアイデアを提案してもらい取り組みができないのか。

**答** **総務課長** EV車の導入は、環境負荷の低減や環境意識の普及啓発に繋がるだけでなく、総合防災訓練などの各種イベントや、災害時の避難所運営において電源設備として活用でき効果は大きい。EV車の導入時期にカーシェアリングも検討する。

**答** **環境経済課長** アイデア募集は5市1町の「ゼロカーボンシティ推進協議会」に提案し検討する。

**問** 町の土地開発公社の必要性への認識と解散した場合の町への影響について

**答** **企画財政課長** 町開発公社の所有地が処分完了すれば、公社の解散も検討すべきと考える。その際は公社への資本金、貸出金などは町に返還される。



被災地へ派遣されている越谷市のトイレトレーラー



すながわ きよとき  
**砂川 清時** (自民クラブ)

**Q** 移動スーパーの成果と今後の展開

**A** 販売場所が2か所追加

**問** 移動スーパーの成果は。

**答** **企画財政課長** 移動スーパーによる買い物支援事業は、他市町と比べても好評である。「移動スーパーが来るようになって便利になった」、「近隣の方とお買い物ができる楽しい」などのご意見もあり、有益な事業であると認識している。

**問** 今後の展開は。

**答** **企画財政課長** 地域の要望もあり、3月18日から販売場所が2か所（田島、築比地）追加された。町は、地域の意見、要望を伺い、買い物への不便感の解消につながるよう事業者と協働していく。

**問** 東埼玉道路・浦和野田線開通後の周辺町道整備は。

**答** **まちづくり整備課長** 交通量の変化や車両の通行形態を見極めて、必要に応じて整備を検討する。町道の整備は、町の負担だけでなく国や県の補助金を活用して行うことが望ましいと考えている。

**問** 水道管やガス管理設工事に伴う道路の整備状況は。

**答** **まちづくり整備課長** 仮復旧の町道の把握は、事

業者からの道路占用許可申請の受理により把握し、騒音・振動に関する苦情が年に数件程度ある。その対応は、まず町の職員が現地の状況確認を行い、道路占用工事の本復旧工事が完了している場合は、町において改善処置等を行う。本復旧が完了していない場合は、事業者に状況を報告し、速やかに改善するよう指導している。



新たに追加された移動販売（田島東エリア）



ますだ ひでお  
**増田 秀雄** (未来クラブ)

**Q** 投票率向上対策について

**A** 新たな投票率向上啓発活動を実施

**問** 投票率向上対策について。

**答** **総務課長** 政治への関心が低い若者世代をターゲットとした選挙啓発を実施する必要があると考えていたので、埼玉県知事選挙では、新たな啓発活動として子育て世帯などを対象とした「期日前投票限定ガチャ」を実施し、一定の効果が得られたものと感じている。今後も、引き続き、投票率向上のための啓発活動を実施していく。

**問** 立地適正化計画策定の目的や効果について。

**答** **新市街地整備課長** この計画の目的は、行政や子育て支援、高齢者等福祉、医療、商業等の様々な都市機能がまとまって立地し、住民が徒歩や公共交通によりこれらにアクセスできるようコンパクトなまちづくりを目的とする。

計画を策定する効果は、わが国が抱える急激な人口減少と高齢化社会に対応した安心できる健康で快適な生活環境の実現や厳しい財政下でも持続可能な都市経営を行うことが可能となる。

**問** 小中学校の樹木管理対策の現状について。

**答** **教育総務課長** 植栽されている樹木は、各学校の教職員や松伏町シルバー人材センターに委託し、剪定や消毒を行うとともに、倒木等の危険のある樹木は造園業者に委託して伐採を行うなどの管理をしている。しかし高木による問題の発生を未然に防ぐ為、効率的な管理方法を検討していく。



剪定された樹木（○印）松伏第二小学校



たぐち よしひろ  
**田口 義博** (自民クラブ)

**Q** 地域資源を生かした公共交通を

**A** 住民の意向に応える計画を策定

**問** 単に、移動の手段が公共交通でなく、より良いまちづくりを進めるためにも、地域資源を組み合わせることで町の価値が上がる。町の見解は。

**答 企画財政課長** 日常の通勤通学の利用者や観光目的、イベントでの来町者、また高齢化による地域の課題など、これらを地域資源と捉え、公共交通施策と共に地域の課題も解決に向かえば理想的でもあり、地域公共交通に対する価値も上がる。

**問** 地域公共交通に求められる役割と価値についての見解は。

**答 企画財政課長** 最も大きな役割は、交通手段の確保と考えている。今後は高齢者などの外出機会や健康増進などにも寄与する役割が求められ、公共交通の価値も今後高まってくる。

**問** 利用頻度の少ない方も近くに公共交通があることで安心感が生まれる。自治会や企業からの負担の在り方を求めるなどしなければ、存続は危ぶまれる。地域公共交通活性化協議会での議論、どのような内容で、その成果をいつから施策として実施

するのか。

**答 企画財政課長** 国の基本方針に基づき、松伏町にとって望ましい「地域公共交通計画」を検討する。協議会では町民へのアンケート調査や公共関連のビッグデータを用いて実際の人の動き方や町民の意向など調査把握し、利便性の高い持続可能な公共交通の在り方を新年度に策定する。



境町の自動運転バス



まつおか たかし  
**松岡 高志** (無所属町民会議)

**Q** 松伏町の地域防災力の向上を

**A** 地域の担い手の育成に努める

**問** 町は各地域の防災の担い手の育成にどう取り組んでいく考えか。

**答 総務課長** 災害が発生した場合、住民の皆様が的確に対処できるような基礎知識を身につけることを目的として、吉川松伏消防組合の協力の下、「松伏町防災リーダー認定講習会」を開催し、現在69名の方を防災リーダーと認定している。また、「埼玉県自主防災組織リーダー養成指導員」講習受講への推薦など、地域の担い手の育成に努めている。

**問** 災害が起きたとき、自治会館等の集会施設がその地域の安心安全の拠点になる。救援物資等、自治会館に配布される仕組みはあるのか。

**答 総務課長** 在宅避難への救援物資の配布については、町から、もしくは指定避難所から、必要に応じて救援物資等々を自治会館、または集会所に配布することを想定している。

**問** 令和4年度の全国及び埼玉県の学力・学習状況調査結果の課題は国語の読解力不足であった。その

課題解決のためにどのような対策を講じたのか。

**答 教育総務課長** 特に国語を中心とし、全ての教科において読む活動の中で、主体的、対話的な活動を取り入れた授業改善や日常的に多くの本に触れさせる機会を確保し、語彙力を高めるための読書活動の推進に向け、今後も取り組んでいく。



松伏町防災訓練 (まつぶし緑の丘公園)



は せ が わ し ん や  
**長谷川 真也** (未来クラブ)

**Q** 小・中学校の統廃合を問う

**A** 望ましい形を求めて、検討

**問** 小学校1校、中学校1校を減らした場合のメリット、デメリットを問う。

**答** **教育総務課長** メリット児童・生徒が多数集まることにより、多様な考えに触れ、認め合い、協力し、高め合える集団の形成、学校行事等の集団教育活動の活性化にもつながる。費用面では、光熱水費等の施設維持費のコストカットにつながる。デメリット学校は児童・生徒のための教育施設であるだけでなく、地域のコミュニティの核としての性格も有している。学区の範囲が広がることにより、学校、地域の関係の希薄化も懸念される。

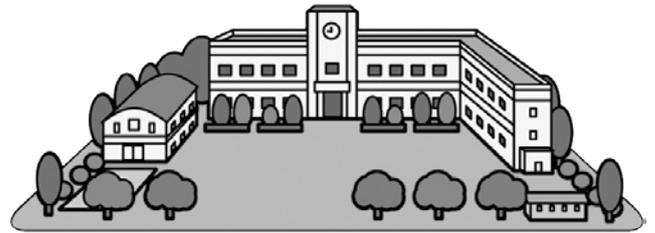
**問** 将来的な学校の統廃合について、教育長はどう考えているか。

**答** **教育長** 小・中学校の統廃合については検討していく必要があると考えている。今年度中学校卒業予定生徒数は270人に対し、令和6年度小学校新入学予定児童数は約170人、5年後の令和11年度は約120人と、確実に少子化が進んでいる。

**問** 都市計画税の導入について、町の考えを問う。

**答** **企画財政課長** 令和4年度に策定した第7次行政改革大綱において、都市計画税導入の検討を位置づけている。

**答** **町長** 多様化、複雑化する町民ニーズへの対応の魅力ある財源だと思う。社会経済情勢等を踏まえて、慎重に検討してまいりたい。



たか の まさひろ  
**高野 祐大** (チェンジ松伏・無所属クラブ)

**Q** BRT駅周辺に住宅開発は可能か

**A** 同じようにできる可能性はある

**問** 定時性、速達性のある交通システムは松伏町で初めて。道の駅に併設されたバスターミナルが松伏のBRTの駅となる。都市計画において住宅系の市街化区域に指定されるのは非常に難しい。BRTターミナルを県に駅として指定していただき、周辺を住居系の市街化区域にすることは可能か。

**答** **新市街地整備課長** BRTの駅周辺に、住宅を開発することができるかについては、農地転用において、駅周辺の土地利用に関して、農地区分が三種農地になる。鉄道駅の場合は、駅の周辺は、土地利用ができるという形になっている。農地区分からしても、同じようにできる可能性はある。

**問** BRTを高度なBRTとして整備ができれば、駅と同じ条件で都市開発ができる。町長はそうした勉強をして感度高く情報収集しないと。町長はBRTに関して、どういった研究されているか。

**答** **町長** 私はこの研究会の中に入っていて、勉強している。役所の人間もしっかりと研究している。

**問** 役所の人間に勉強させておいて、自分が勉強しな

いというのはよくない。ぜひご自身が勉強を。次に、BRTのような大規模インフラの実現まで、町が持続可能である必要がある。シェアサイクルは人口流出防止が期待される。どう評価してるか。

**答** **企画財政課長** 草加市、八潮市でシェアサイクル事業者と実証実験が開始されている。



埼玉県「自動運転専用道路の整備と新たな交通システムの導入及び道路整備に関する要望について」より引用



よしだ しゅんいち  
**吉田 俊一**（日本共産党）

**Q** 天神団地の通り抜け車への対策を

**A** 野田橋の渋滞解消を働きかける

**問** 玄関先を朝の通勤時には200台以上の車両が通り抜けている。深刻な状況で、自治会の方が町に相談に行かれている。どのような対応をしたのか。

**答** **総務課長** 令和4年5月に要望書を受け、町は天神自治会、規制を管轄している吉川警察、県道の管理者・越谷県土事務所、隣接している吉川市と再三にわたる協議を重ねた。現在まで、徐行を促す路面標示、啓発看板の設置、通過車両の速度を抑制するラバーポールの設置など実施。ご要望のとおり実施できないことへの代替案を講じてきた。

**問** 現状はまだ解決していない。今後の対策は。

**答** **総務課長** 自治会のみなさんから引き続きご相談やご要望があった際には、必要に応じて関係機関と調整を図っていききたい。

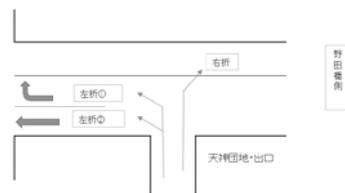
**問** 野田橋の交差点改良や道路改良によって天神地区の侵入車両を減らせないのか。浦和野田線や東埼玉道路の建設、野田橋の渋滞解消への見通しは。

**答** **まちづくり整備課長** 野田橋交差点を含む県道改

良工事はこの1月から令和7年3月までの予定。天神地区の車両問題への影響はないだろう。

**答** **新市街地整備課長** 浦和野田線建設促進期成同盟会は千葉県知事に野田橋の4車線化を毎年要望。

関連する野田橋を渡った場所の道路対策で、9月千葉県議会で質問があり、前向きな答弁があったと伺っている。足並みをそろえ、要望をしていく。



調査日 2024年2月29日(木) 車両台数(バイク含む) 6:30-8:50 2時間20分

時間帯	通り抜け合計	左折①	左折②	左折合計	右折
6:30-6:59	20	9	6	15	5
7:00-7:29	67	41	16	57	10
7:30-7:59	73	43	8	51	22
8:00-8:29	82	43	13	56	26
8:30-8:49	20	12	5	17	3
合計	262	148	48	196	66
%	100	56%	18%	75%	25%



ひらの ちほ  
**平野 千穂**（日本共産党）

**Q** 災害備蓄品の不足数拡充の考えは

**A** 引き続き備蓄品の整備に努めたい

**問** 16か所の指定避難所の収容人数に対して、段ボールベット、テントなどの数は足りているのか。災害備蓄品の拡充は、どう進めていく考えなのか。

**答** **総務課長** 地域防災計画で示している避難想定数1134人を基に試算すると、段ボールベッドなどの寝具は約40%、授乳室などで使用することを想定しているテントは約30%の整備率。引き続き既存の予算の範囲の中で備蓄品の整備に努め、活用できる国・県の補助制度が確認された場合には、速やかな申請や予算確保に努めたい。

**問** 長野県安曇野市では災害時の在宅避難への備えの拡充を図るために、住民が防災用品を購入した場合、上限2万円の補助金制度がある。町でも検討ができないか。

**答** **総務課長** 現在町では災害時には自分の身は自分で守る自助の観点から各家庭での防災用品等の備蓄について啓発をしている。従って現時点では防災用品購入補助金制度の新設は検討していない。

**問** 不登校の子どもたちが増加する中で、余暇教室などを活用した学校内の居場所づくりを実施している自治体が増えている。町の今後の見通しは。

**答** **教育総務課長** 中学校同様に小学校にも、学校内の居場所設置に向け、令和6年度は松伏小学校にモデルクラスを設置し、7年度以降の正式設置に向けて課題や問題点の整理を進める。



避難所開設訓練(1月28日)での段ボールベッド組立の様子



3月定例会・傍聴者数

2月28日	1名	3月11日	4名
3月1日	2名	3月13日	1名
3月4日	4名	3月14日	1名
3月5日	12名	3月18日	2名
3月7日	1名	3月21日	1名
合計		29名	

傍聴者の声 (抜粋です)

- ご近所さん体操が所定計画通り、住民主導もあり、今年度23会場となった。追加は関場集会場、ハーモニー、関農民センター、ご存知の通り近年、厚労省、WHOなども筋トレの効果を推奨しており、週2～3度の楽しく筋トレをすることで健康長寿につながると言われており、ボランティアにより運営されているご近所さん体操で高齢者が元気になり、医療費が削減される等費用対効果も期待できる。未だ空白地域も残されており、更なる会場が期待される。
- 防災は憂いなきよう歴史的視点も踏まえて、考えられる範囲で皆が備えること、論を待たない。公助、共助、自助がやはり大切で、国・県・町・町内会・団体・企業・家族・個人が連携しつつ、それぞれのパートで積極的に取り組むべきである。

議会広報発行特別委員会



村上 真由美 増田 等 佐藤 永子 平野 千穂 副委員長 高野 祐大 委員長 田口 義博 議長 高橋 昭男 増田 秀雄

【編集後記】 高野 祐大

議会広報発行特別委員会の委員長となりました、高野祐大です。今後の議会だよりについて、より魅力的で手に取りたくなるような議会だよりを目指して、活動していければと考えています。議会の動向をより詳細に報告することで透明性を高め、町民の皆様との信頼関係を深めていくことで、町民一人ひとりが議会の動向をより身近に感じ、参加しやすくなることを目指します。どうぞよろしくお願いいたします。

議長 田口 義博  
議会広報発行特別委員会  
委員長 高野 祐大  
副委員長 平野 千穂  
委員 佐藤 永子  
委員 高橋 昭男  
委員 増田 等  
委員 増田 秀雄  
委員 村上 真由美